

# 川田テクノロジーズ株式会社(3443) 2021年3月期 決算説明資料

2021年5月13日

 KAWADA technologies

# 2021年3月期決算説明

## INDEX

1. 2021年3月期の実績
2. 2022年3月期の見込
3. セグメント別 実績と見込
  - 3-1. 鉄構セグメント
  - 3-2. 土木セグメント
  - 3-3. 建築セグメント
  - 3-4. その他
4. 配当
5. 第2次中期経営計画

## INDEX

### 1. 2021年3月期の実績

2. 2022年3月期の見込
3. セグメント別 実績と見込
  - 3-1. 鉄構セグメント
  - 3-2. 土木セグメント
  - 3-3. 建築セグメント
  - 3-4. その他
4. 配当
5. 第2次中期経営計画

# 2021年3月期の業績

全体

(百万円)	20/3期	21/3期		
	実績	実績	増減額	前期比
売上高	127,048	115,545	▲11,503	▲9.1%
売上原価	110,237	100,102	▲10,134	▲9.2%
売上総利益	16,811	15,442	▲1,369	▲8.1%
販管費	10,052	9,876	▲175	▲1.7%
営業利益	6,759	5,565	▲1,193	▲17.7%
経常利益	8,543	8,048	▲495	▲5.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,449	6,340	▲108	▲1.7%

5期ぶりの減収 3期ぶりの減益

# 2021年3月期の受注高と期末繰越高

全体

(百万円)	20/3期	21/3期		
	実績	実績	増減額	前期比
受注高	106,384	118,978	12,593	11.8%
期末繰越高	134,009	134,693	683	0.5%

※セグメント間の取引については、相殺消去していません。

受注高、期末繰越高ともに2期ぶりに増加

## INDEX

1. 2021年3月期の実績
- 2. 2022年3月期の見込**
3. セグメント別 実績と見込
  - 3-1. 鉄構セグメント
  - 3-2. 土木セグメント
  - 3-3. 建築セグメント
  - 3-4. その他
4. 配当
5. 第2次中期経営計画

# 2022年3月期の「前期比」について

## 全体

2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」  
(企業会計基準第29号)等が適用されます。

この後に説明する2022年3月期業績（全体、セグメント共に）については、当該会計基準等を適用した後の金額となっております。

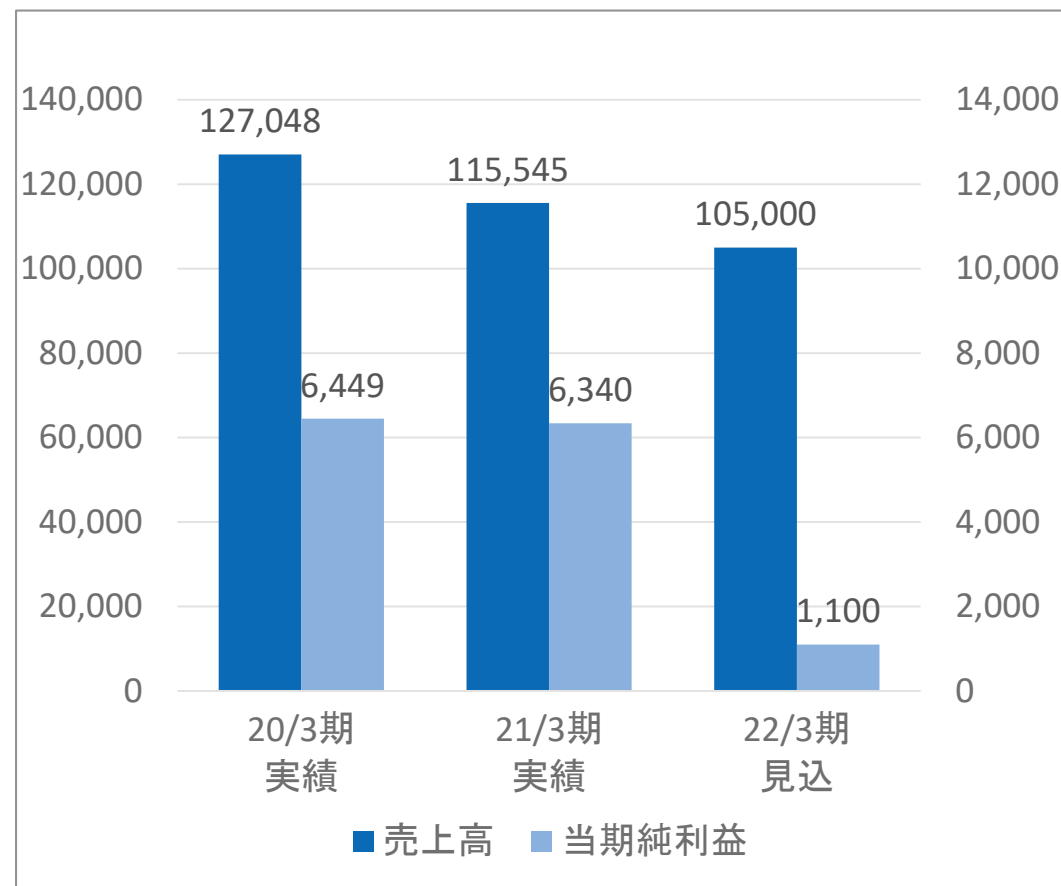
この場合、本来ならば前期比の数値を算出するにあたり前期の数値を補正する必要がありますが、現時点ではその数値が確定しておりませんので、今回の説明資料では補正を行っておりません。

お含みおきの上、ご覧いただきますようお願いいたします。

# 2022年3月期の業績（見込）

## 全体

(百万円)	22/3期	
	見込	前期比
期首繰越高	<b>134,693</b>	<b>0.5%</b>
売上高	<b>105,000</b>	<b>▲9.1%</b>
売上原価	<b>92,800</b>	<b>▲7.3%</b>
売上総利益	<b>12,200</b>	<b>▲21.0%</b>
販管費	<b>10,700</b>	<b>8.3%</b>
営業利益	<b>1,500</b>	<b>▲73.0%</b>
経常利益	<b>2,200</b>	<b>▲72.7%</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>1,100</b>	<b>▲82.6%</b>



特殊要因が重なり減収減益

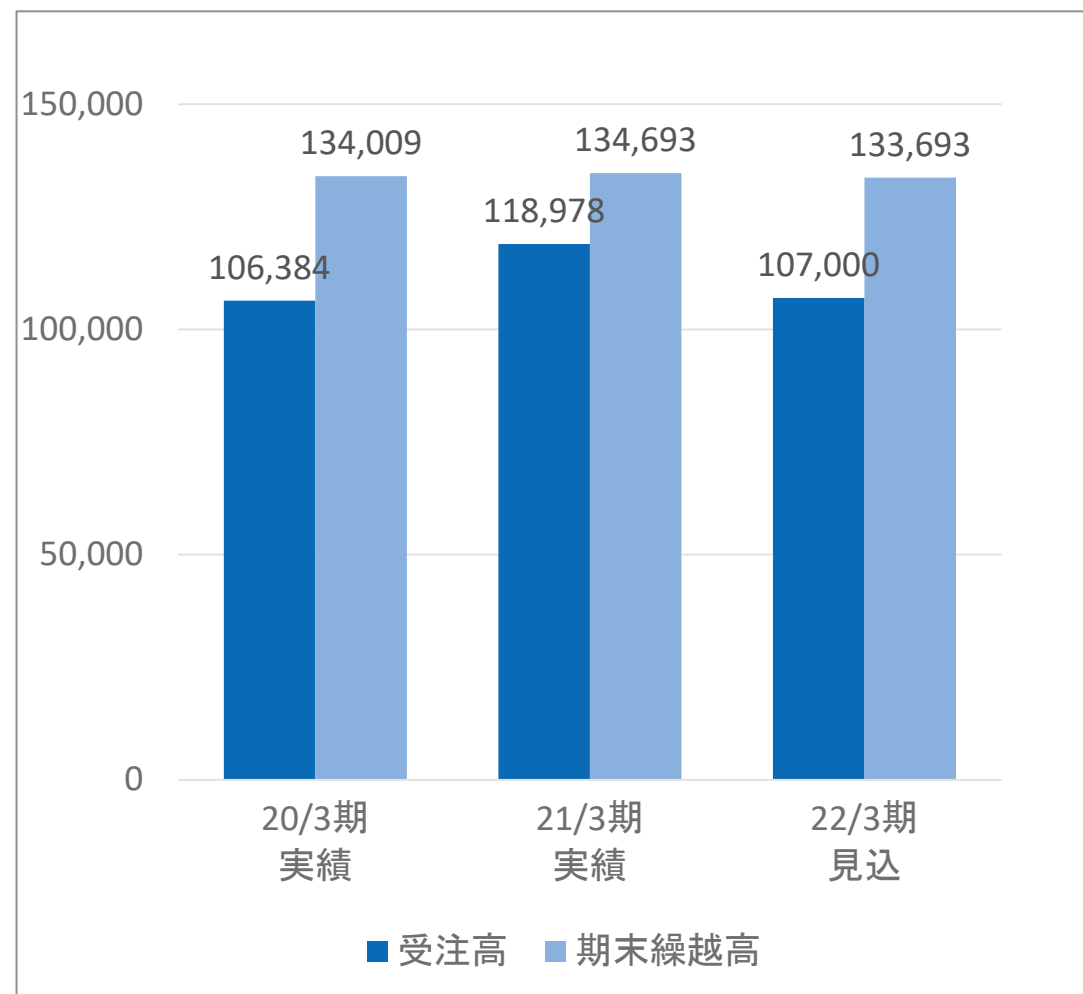


# 2022年3月期の受注高と期末繰越高

全体

(百万円)	22/3期	
	見込	前期比
受注高	<b>107,000</b>	<b>▲10.1%</b>
期末繰越高	<b>133,693</b>	<b>▲0.7%</b>

期首繰越高は横ばい  
 受注高は減少  
 売上高は減少  
 期末繰越高は横ばい



## INDEX

1. 2021年3月期の実績
2. 2022年3月期の見込

### **3. セグメント別 実績と見込**

- 3-1. 鉄構セグメント
  - 3-2. 土木セグメント
  - 3-3. 建築セグメント
  - 3-4. その他
4. 配当
  5. 第2次中期経営計画

# 鉄構セグメント

# 2021年3月期の期首繰越高と受注高

## 鉄構

(百万円)	20/3期	21/3期		
	実績	実績	増減額	前期比
期首繰越高	<b>88,144</b>	<b>68,510</b>	<b>▲19,634</b>	<b>▲22.3%</b>
受注高	<b>42,056</b>	<b>65,193</b>	<b>23,136</b>	<b>55.0%</b>

※セグメント間の取引については、相殺消去していません。

### 期首繰越高

前期の橋梁事業における新設鋼製橋梁市場の一時的な縮小により減少

### 受注高

橋梁事業における大型特定更新工事受注により増加

# 2021年3月期の業績

## 鉄構

(百万円)	20/3期	21/3期		
	実績	実績	増減額	前期比
売上高	<b>61,691</b>	<b>61,287</b>	<b>▲404</b>	<b>▲0.7%</b>
営業利益	<b>4,307</b>	<b>4,406</b>	<b>98</b>	<b>2.3%</b>

※セグメントの実績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載してあります。

### 売上高

鉄骨事業での工事の大型化・長期化により、完成計上まで時間を要するため減収

### 営業利益

橋梁事業での原価先行工事における設計変更獲得により増益

# 2022年3月期の期首繰越高と受注高

## 鉄構

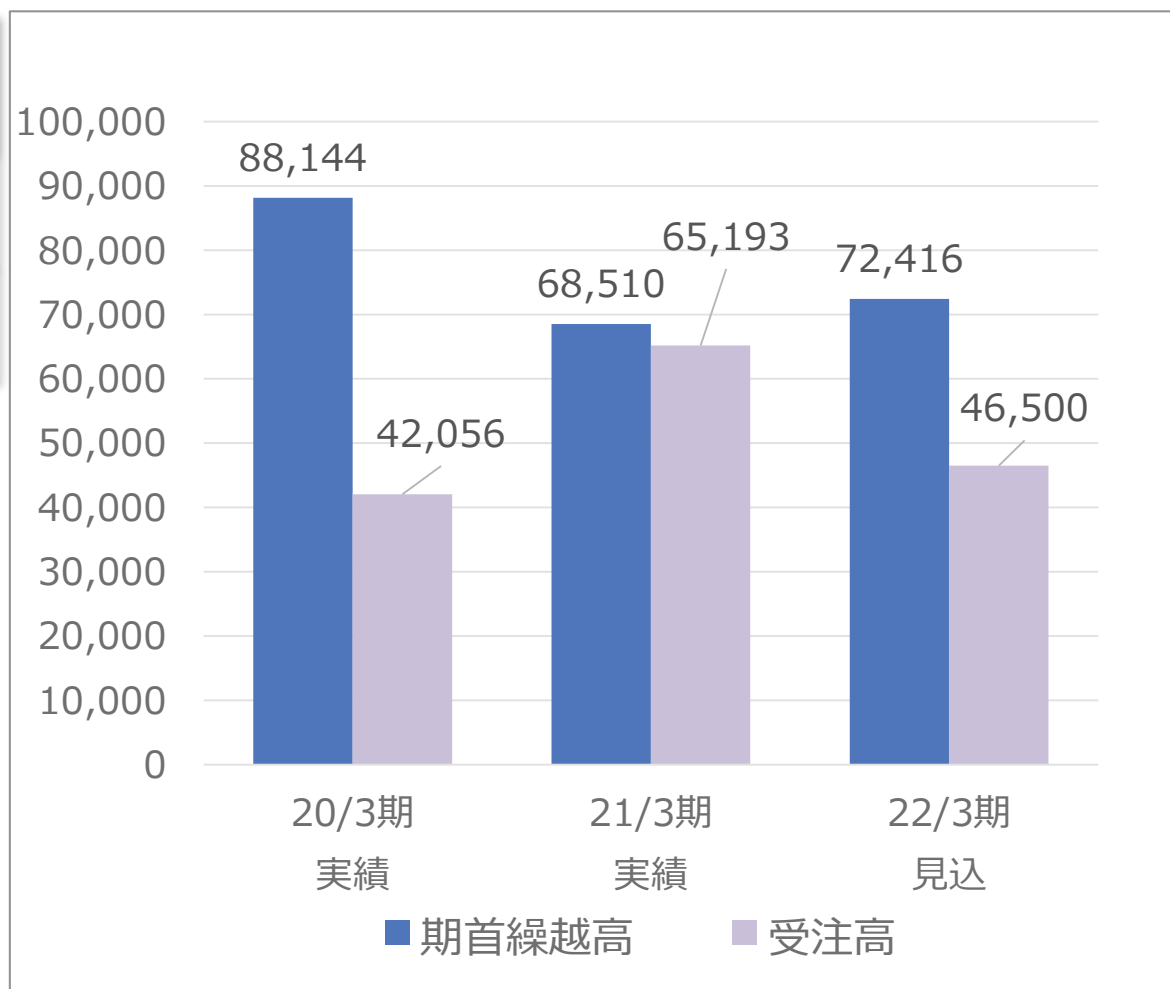
(百万円)	22/3期	
	見込	前期比
期首繰越高	<b>72,416</b>	<b>5.7%</b>
受注高	<b>46,500</b>	<b>▲28.7%</b>

※セグメント間の取引については、相殺消去していません。

受注高  
橋梁事業で減収

**【理由】**

市場回復基調も、  
大型特定更新工事受注  
という特殊要因消滅



# 2022年3月期の業績（見込）

## 鉄構

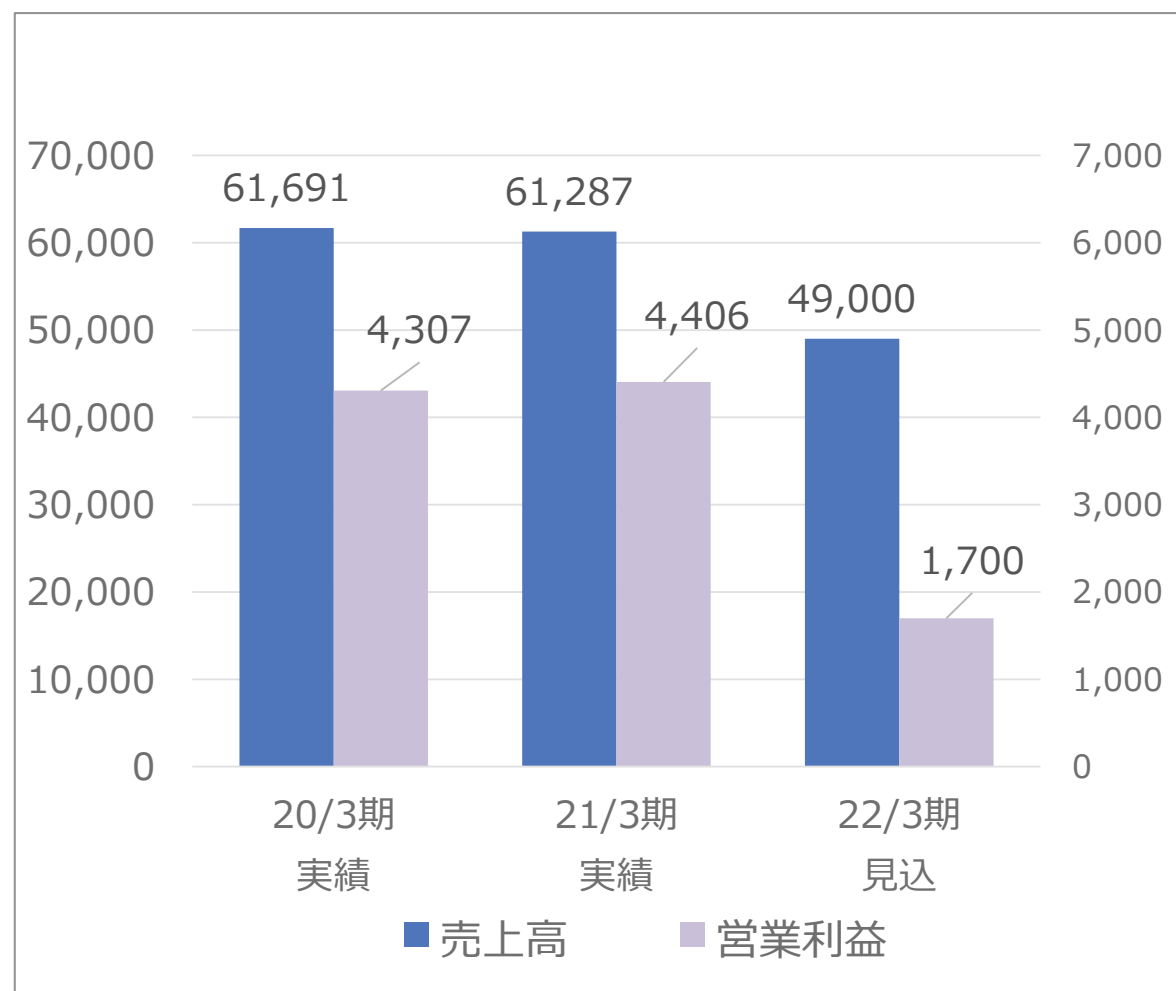
(百万円)	22/3期	
	見込	前期比
売上高	<b>49,000</b>	<b>▲20.0%</b>
営業利益	<b>1,700</b>	<b>▲61.4%</b>

※セグメントの実績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載してあります。

売上高・営業利益  
橋梁事業で減収減益

**【理由】**

前期での想定以上の  
設計変更協議の進捗



# 土木セグメント



# 2021年3月期の期首繰越高と受注高

土木

(百万円)	20/3期	21/3期		
	実績	実績	増減額	前期比
期首繰越高	<b>50,330</b>	<b>52,166</b>	<b>1,835</b>	<b>3.6%</b>
受注高	<b>38,498</b>	<b>31,315</b>	<b>▲7,183</b>	<b>▲18.7%</b>

※セグメント間の取引については、相殺消去しておりません。

期首繰越高

近年の好調な受注高を背景に増加

受注高

過去最高の期首繰越高を受け、計画受注を実施したことにより減少

# 2021年3月期の業績

## 土木

(百万円)	20/3期	21/3期		
	実績	実績	増減額	前期比
売上高	36,662	34,625	▲2,037	▲5.6%
営業利益	2,968	2,524	▲444	▲15.0%

※セグメントの実績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載してあります。

### 売上高

工事の大型化・長期化により売上計上まで時間を要するため減収

### 営業利益

保全工事において、原価先行となる工事があったため減益

# 2022年3月期の期首繰越高と受注高

土木

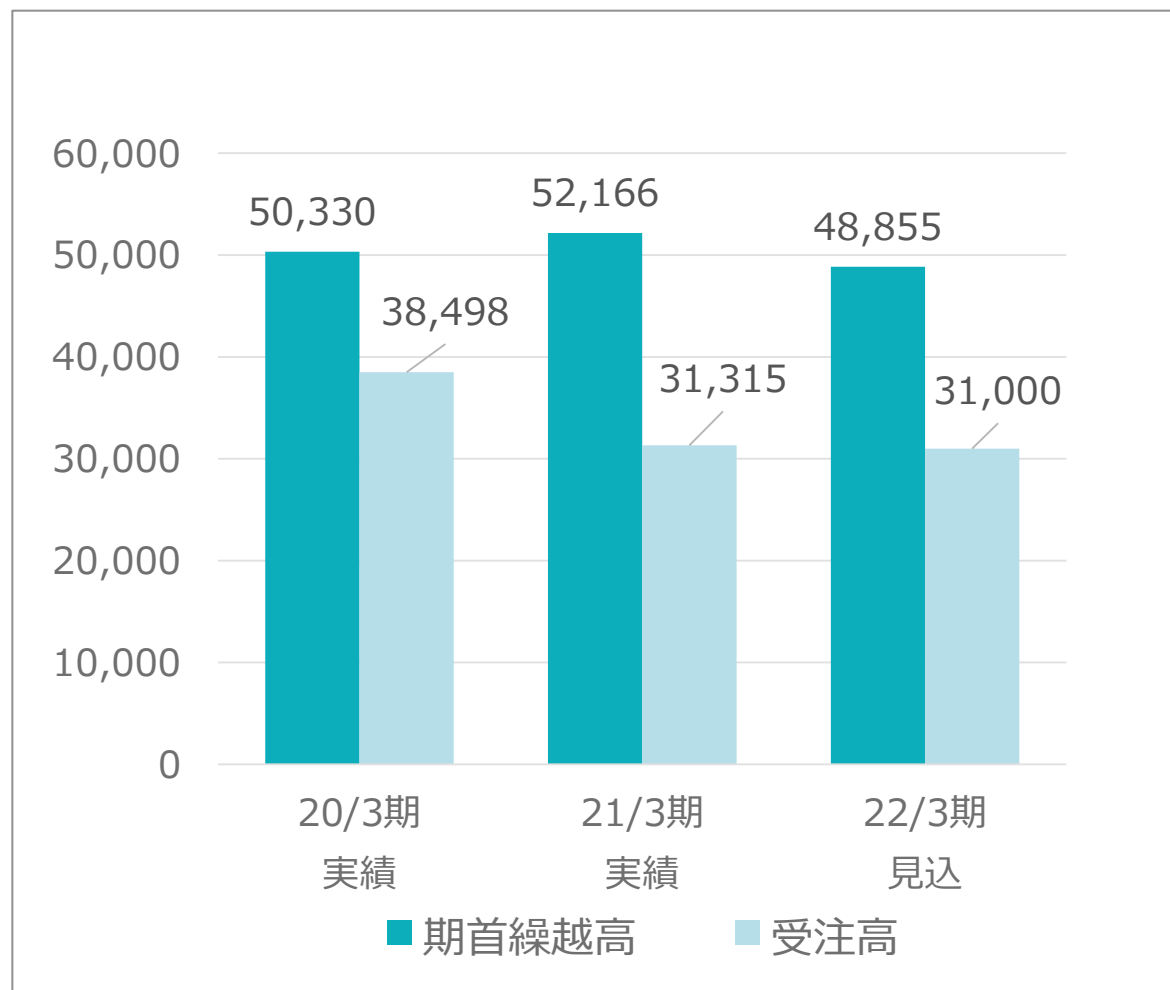
(百万円)	22/3期	
	見込	前期比
期首繰越高	<b>48,855</b>	<b>▲6.3%</b>
受注高	<b>31,000</b>	<b>▲1.0%</b>

※セグメント間の取引については、相殺消去しておりません。

受注高  
ほぼ横ばいを維持

**【理由】**

高水準な繰越高を背景に  
計画的な受注戦略



# 2022年3月期の業績（見込）

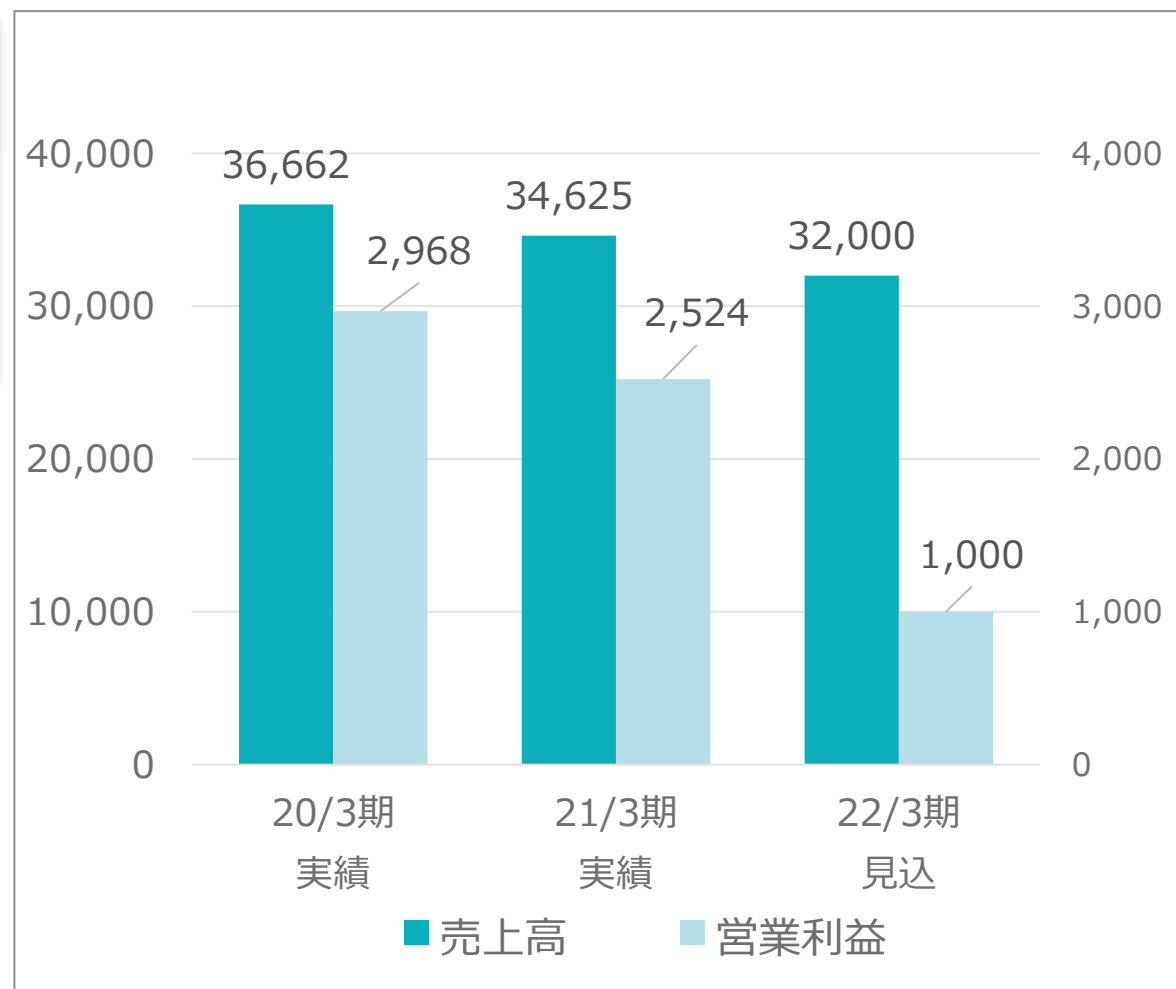
## 土木

(百万円)	22/3期	
	見込	前期比
売上高	<b>32,000</b>	<b>▲7.6%</b>
営業利益	<b>1,000</b>	<b>▲60.4%</b>

※セグメントの実績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載してあります。

売上高  
工事の大型化・長期化で減収

営業利益  
売上高の減少や  
設計変更の不確実性で減益



# 建築セグメント

# 2021年3月期の期首繰越高と受注高

## 建築

(百万円)	20/3期	21/3期		
	実績	実績	増減額	前期比
期首繰越高	<b>18,586</b>	<b>12,114</b>	<b>▲6,472</b>	<b>▲34.8%</b>
受注高	<b>13,479</b>	<b>10,390</b>	<b>▲3,088</b>	<b>▲22.9%</b>

※セグメント間の取引については、相殺消去していません。

### 期首繰越高

前期における米中貿易摩擦による民間設備投資の抑制により減少

### 受注高

新型コロナによる民間設備投資意欲の減退により減少

# 2021年3月期の業績

## 建築

(百万円)	20/3期	21/3期		
	実績	実績	増減額	前期比
売上高	<b>19,951</b>	<b>10,647</b>	<b>▲9,304</b>	<b>▲46.6%</b>
営業利益	<b>1,376</b>	<b>648</b>	<b>▲727</b>	<b>▲52.9%</b>

※セグメントの実績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載してあります。

売上高

期首繰越高や受注高の減少により減収

営業利益

売上高の減少より減益

# 2022年3月期の期首繰越高と受注高

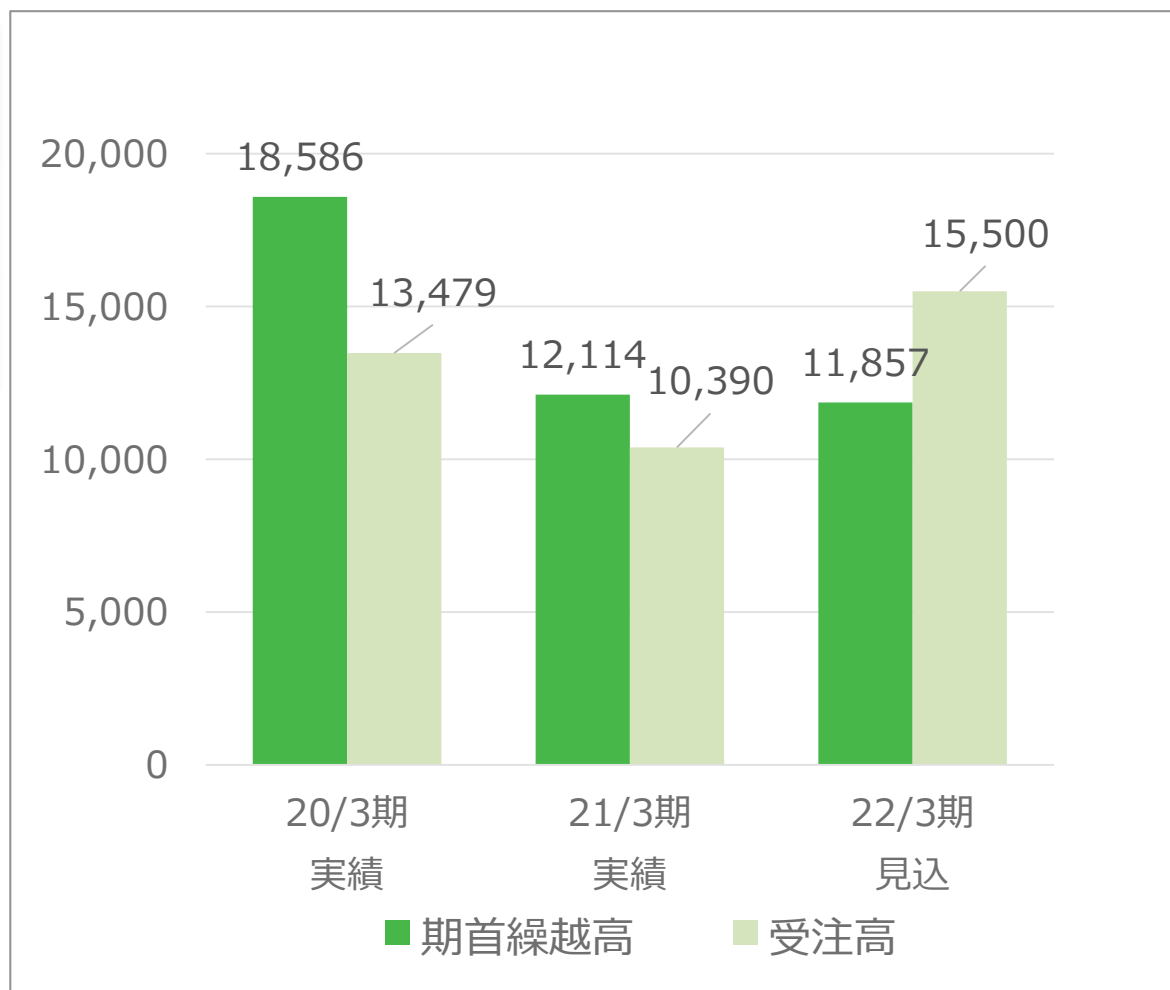
## 建築

(百万円)	22/3期	
	見込	前期比
期首繰越高	<b>11,857</b>	<b>▲2.1%</b>
受注高	<b>15,500</b>	<b>49.2%</b>

※セグメント間の取引については、相殺消去しておりません。

受注高  
システム建築で回復

【理由】  
付加価値の創造  
新規顧客開拓





# 2022年3月期の業績（見込）

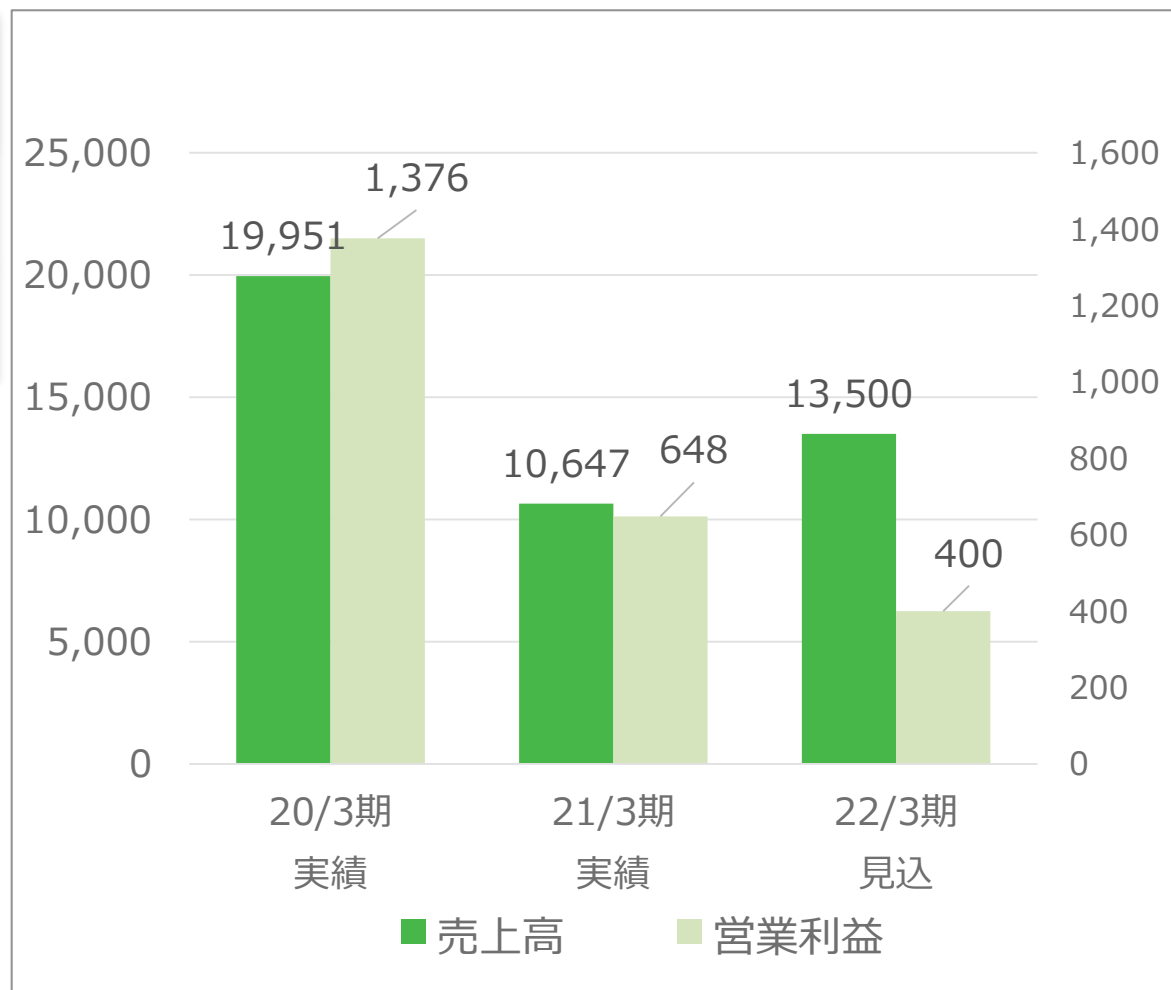
## 建築

(百万円)	22/3期	
	見込	前期比
売上高	<b>13,500</b>	<b>26.8%</b>
営業利益	<b>400</b>	<b>▲38.4%</b>

※セグメントの実績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載してあります。

売上高  
受注回復により増収

営業利益  
受注競争激化で減益



その他

# 2021年3月期の期首繰越高と受注高

## その他

(百万円)	20/3期		21/3期	
	実績	実績	増減額	前期比
期首繰越高	<b>1,510</b>	<b>1,218</b>	<b>▲292</b>	<b>▲19.3%</b>
受注高	<b>12,349</b>	<b>12,078</b>	<b>▲270</b>	<b>▲2.2%</b>

※セグメント間の取引については、相殺消去していません。

### 受注高

航空・ロボット事業における新型コロナウイルスの影響で減少

# 2021年3月期の業績

## その他

(百万円)	20/3期	21/3期		
	実績	実績	増減額	前期比
売上高	<b>12,641</b>	<b>11,734</b>	<b>▲907</b>	<b>▲7.2%</b>
営業利益	<b>668</b>	<b>431</b>	<b>▲237</b>	<b>▲35.5%</b>

※セグメントの実績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載してあります。

売上高

新型コロナにより航空・ロボット事業で減収

営業利益

航空・ロボット事業での減収により減益

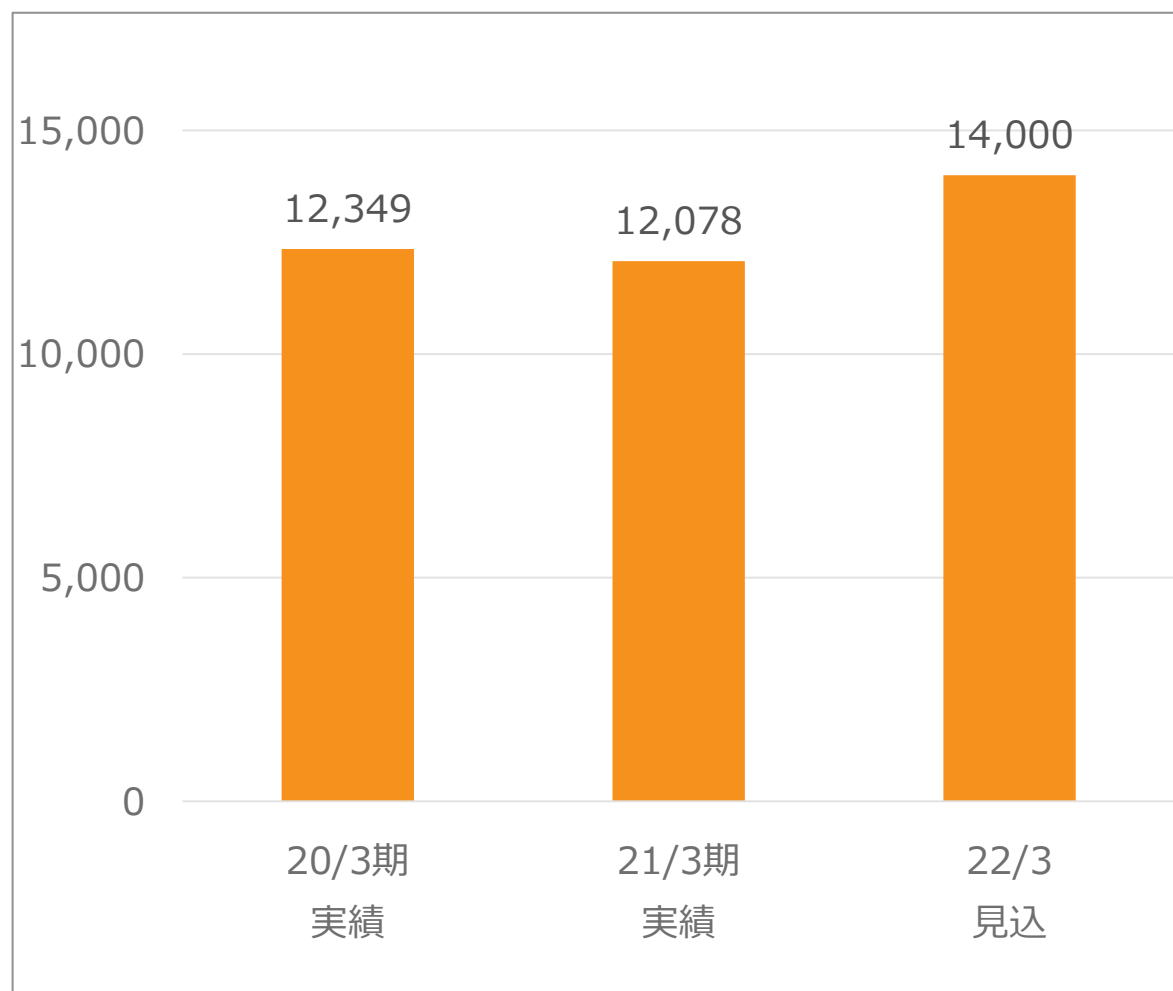
# 2022年3月期の期首繰越高と受注高

## その他

(百万円)	22/3期	
	見込	前期比
期首繰越高	<b>1,562</b>	<b>28.3%</b>
受注高	<b>14,000</b>	<b>15.9%</b>

※セグメント間の取引については、相殺消去しておりません。

受注高  
ソフトウェア関連事業伸長



# 2022年3月期の業績（見込）

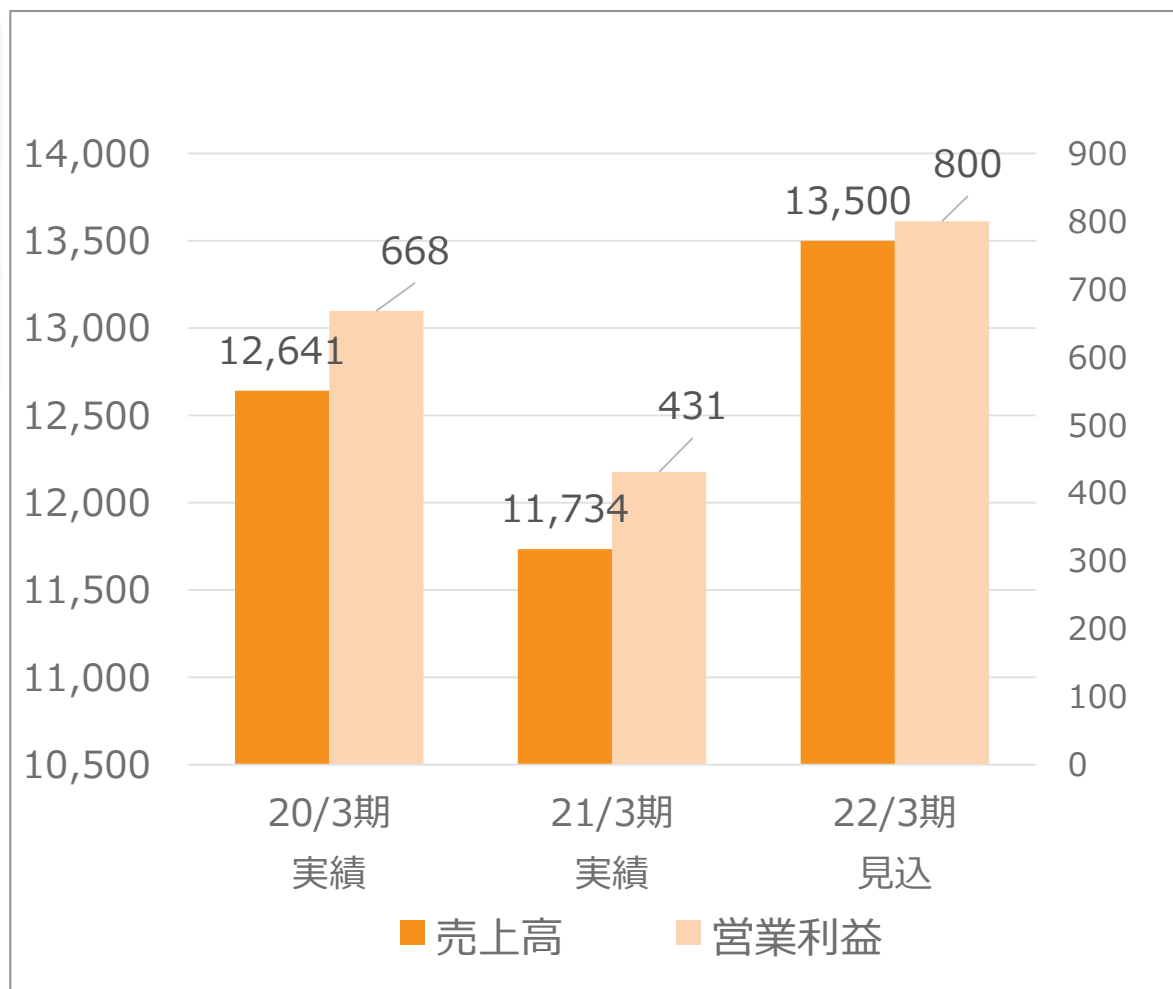
## その他

(百万円)	22/3期	
	見込	前期比
売上高	<b>13,500</b>	<b>15.0%</b>
営業利益	<b>800</b>	<b>85.5%</b>

※セグメントの実績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載してあります。

売上高  
受注高の増加により増収

営業利益  
売上高の増加により増益



# 2021年3月期決算説明

## INDEX

1. 2021年3月期の実績
2. 2022年3月期の見込
3. セグメント別 実績と見込
  - 3-1. 鉄構セグメント
  - 3-2. 土木セグメント
  - 3-3. 建築セグメント
  - 3-4. その他

## 4. 配当

5. 第2次中期経営計画

# 配当



80円の配当を継続する見込



# 2021年3月期決算説明

## INDEX

1. 2021年3月期の実績
2. 2022年3月期の見込
3. セグメント別 実績と見込
  - 3-1. 鉄構セグメント
  - 3-2. 土木セグメント
  - 3-3. 建築セグメント
  - 3-4. その他
4. 配当
- 5. 第2次中期経営計画**

# 第2次中期経営計画進捗状況

(億円)	目標	21年3期 1年目	22年3期 2年目	2年平均
		実績	見込	見込
売上高	1,160	1,155	1,050	1,103
営業利益 (営業利益率)	42 (3.6%)	55 (4.8%)	15 (1.4%)	35 (3.2%)
自己資本比率	46%以上	44.80%	—	—

※売上高、営業利益（率）の目標値は3年平均

1年目 鉄構・土木セグメントにおける設計変更獲得 ⇒ 営業利益目標達成  
 2年目 売上高・営業利益の減少見込 ⇒ 各種施策の追加と軌道修正

本資料に記載される業界、市場動向または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性について保証するものではありません。

また、本資料に記載される当社グループの計画、見積、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断または考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、経済情勢、業界の市場動向、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

～お問合せ先～

川田テクノロジーズ株式会社 経営管理部 [ir.kti@kawada.jp](mailto:ir.kti@kawada.jp)

 KAWADA technologies